



2026年5月12日

各 位

株式会社HODL1
代表取締役CEO 田原 弘貴
(証券コード: 2345 東証スタンダード市場)
(お問合せ先) 取締役CSO 田中 遼
電話番号 03-6427-7380 (代表)

Gauntlet社アジア初の暗号資産トレジャリーパートナー就任に関するお知らせ

当社は、DeFiリスク管理のグローバルリーダーであるGauntlet Networks Inc. (以下「Gauntlet社」といいます。)との暗号資産トレジャリーパートナー就任について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 暗号資産トレジャリーパートナーの概要

当社は、「イーサリアムカンパニーとして、金融インフラの未来を広げる」を掲げ、イーサリアムの長期保有・運用を行う「HODL」事業とブロックチェーン技術の開発・社会実装を推進する「BUIDL」事業の両輪でイーサリアムエコシステムの拡大に貢献しています。

このHODL事業に該当するイーサリアムの運用にあたり、Gauntlet社が提供するMorpho上のオンチェーンVaultを活用した資産運用を開始いたしました。本取組は、Gauntlet社にとってアジア初の暗号資産トレジャリーパートナーとなります。

Gauntlet社のリスク管理フレームワークと当社のDeFi運用ノウハウを組み合わせ、機関投資家水準のオンチェーンでの資本配分を実現してまいります。

また、本取組を通じて得られるオンチェーン・トレジャリー運営に関する知見を、日本語での情報発信等を通じて共有することで、日本・アジア市場におけるDeFiエコシステムの健全な発展に貢献することを目指します。

2 Gauntlet社CBOニコラス・キャノン氏コメント

「HODL1との提携は、GauntletのAPAC展開における重要な節目であり、市場の大きな変化を象徴するものです。この地域の機関投資家レベルのETHホルダーは、単なる「HOLD」から一歩踏み出し、リスク管理を徹底した上でのオンチェーン運用へとシフトする準備が整っています。」

3 HODL1取締役CTO伊藤光佑コメント

「イーサリアムは、単なる保有資産から、リスクを管理しながら能動的に運用可能な金融インフラへと進化しています。DeFiリスク管理のグローバルリーダーであるGauntlet社との協業により、当社はHODLとBUIDLの両輪で培ってきた技術力を結集し、オンチェーンネイティブな運用モデルをアジアから構築してまいります。これは『イーサリアムカンパニー』として、金融インフラの未来を広げるといふ当社のミッションそのものの体現です。」

4 Gauntlet社の概要

Gauntletは、データ駆動型の戦略を提供することで、投資家、ビルダー、トークン発行者が自信を持って資産を配分できるよう支援しています。これまでに、150以上のフィンテック企業や機関投資家との統合を通じて、オンチェーンで15億ドル以上の資産配分を実現してきました。

8年にわたる暗号資産エコノミクスの研究・分析実績を誇るGauntletは、Coinbase、Morpho、Uniswap、Arbitrum、NEARといったエコシステムのリーダーたちと協力し、プロトコル及びリスクマネジメントの最適化戦略を構築しています。Gauntletが提供するモデルは、暗号資産エコシステム全体で420億ドルを超えるデジタル資産のリスク分析・評価・最適化を支援しており、資本効率の向上とリスク低減に貢献しています。

詳細はこちらgauntlet.xyz

5 今後の展望

当社は引き続き、DeFiを活用したデジタルアセット運用の高度化を推進し、上場企業としての透明性と健全性を堅持しながら企業価値の向上に努めてまいります。業績への影響については、現時点では軽微であると見込んでおります。今後、開示が必要な事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上